

すぐに役立つくらしの健康情報——

こんちわ

2020年12月号



広島県医師会の対応マニュアルでは同時感染が疑われる場合、インフルエンザの処方をし、新型コロナウィルスの唾液によるPCR法検査をして帰宅して頂いて経過、結果で判断することになります。当院では他の患者様、職員への感染防止から発熱のある方は来院前に必ず電話でご相談頂くようお願いしておりますのでご理解、ご協力を願っています。

院長 医学博士 前田 正博

おります。

新型コロナウィルスの初期症状は発熱、咳、疲労感の他、咽喉痛、味覚・嗅覚異常、鼻づまり、頭痛、筋肉痛、下痢、発疹などがありますが、インフルエンザや感冒でもみられることがあります。

早いもので今年も残すところ僅かとなり本格的な冬を迎えるなか、新型コロナウィルスの第3波の流行を大変危惧して



発熱時にはお電話を